

家族の目的

シリーズ・家族
第4回

ノアの箱舟

＜創世記6～9章＞

- 地上に人の悪が満ちあふれた
 - 「地上に人の悪が増し、常に悪いことばかりを心に思い計っている」
- 神は人間の創造を後悔し、滅ぼそうと考えられた
- ノアは「ノアは神に従う無垢な人」であったので、神は彼とその家族を救おうとされた
- 神はノアに巨大な箱を造るよう命じられた

- ＊ノアとその家族、そして地上のあらゆる生き物のつがいが生きのびた
- ＊洪水後、改めて神はノアとその家族を祝福され、「産めよ、増えよ、地に満ちよ。」と言われた

家族を重んじる神

● 大洪水の原因是家族制度の崩壊

- 「神の子らは、人の娘たちが美しいのを見て、おのおの選んだ者を妻にした。」<6:2>

● 洪水の目的は家族制度の回復

● 神はノアの家族を取り扱われた

- 山の上に箱舟を造るという試練
- 箱舟による救い
- 祝福の約束

● 繰り返される「息子や妻や嫁」という表現

- 6:18, 7:1, 7:13, 8:16, 8:18, 9:1

家族の目的

- ＊ 神に仕えること

- 神の思いを受け止め、実行に移す単位

- ＊ 試練を共に乗り越えること

- 共に苦しみ共に喜ぶ単位

- 神の恵みと祝福を受ける単位

- ＊ この世界の秩序を維持すること

- 正しい家族関係から正しい社会が生まれる

家族と教会

- 教会は神が与えられたもう一つの家族（ビッグ・ファミリー）である

教 会

家族

家族

家族

家族